

# 取扱説明書

Instruction Manual

## キャリブレックスディスペンサー 525/530

型番				
品番	3-7057	3-7065	3-1607	3-1608
-01	525.001	530.001	525.025	530.025
-02	525.002.5	530.002.5	525.050	530.050
-03	525.005	530.005	525.100	530.100
-04	525.010	530.010	525.025FC	530.025FC
-05	525.001FC	530.001FC	525.050FC	530.050FC
-06	525.002.5FC	530.002.5FC	525.100FC	530.100FC
-07	525.005FC	530.005FC		
-08	525.010FC	530.010FC		

この度は本製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださいますよう  
お願い申し上げます。  
また、お読み頂きました後も大切に保管してください。



## 目次

■ 特長 .....	2
■ 注意事項 .....	2
■ 付属品一覧 .....	3
■ 各部名称 .....	3
■ パーツ一覧表 .....	4
■ 組立方法 .....	5
■ 使用方法 .....	5
■ 分解方法/メンテナンス .....	7
■ キャリブレーション .....	7
■ オプションパーツ交換方法 .....	8
■ トラブルシューティング .....	11
■ 仕様 .....	13
■ オプション品一覧 .....	15

## 特長

- 1回当たり最大100mLまでの容量を高精度で分注します。
- 接液部は耐薬品性に優れ、長期にわたり安定してご使用いただけます。
- プランジャーキャップの内側にある調整部で簡単に分注容量の微調整が行なえます。
- フローコントロールコックにより、カラ打ち時の溶液をコンタミネーションフリーでボトル内に戻し、貴重なサンプル溶液を無駄にせず、経済的です(フローコントロールコック付(型番末尾にFCがつくモデル)仕様のみ)。
- 分解なしで121℃オートクレーブが可能です。
- 525モデルは、硼珪酸ガラス製プランジャーの採用により、有機溶剤、結晶化しない酸性溶液などの分注に適しています。
- 530モデルは、硼珪酸ガラス製プランジャーをPFAコーティングすることにより、バレルとプランジャーの固着を予防し、食塩水や弱酸性、強酸性溶液などの分注に適しています。

## 注意事項

本製品をご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みください。また、本取扱説明書をいつでも参照できるよう大切に保管ください。

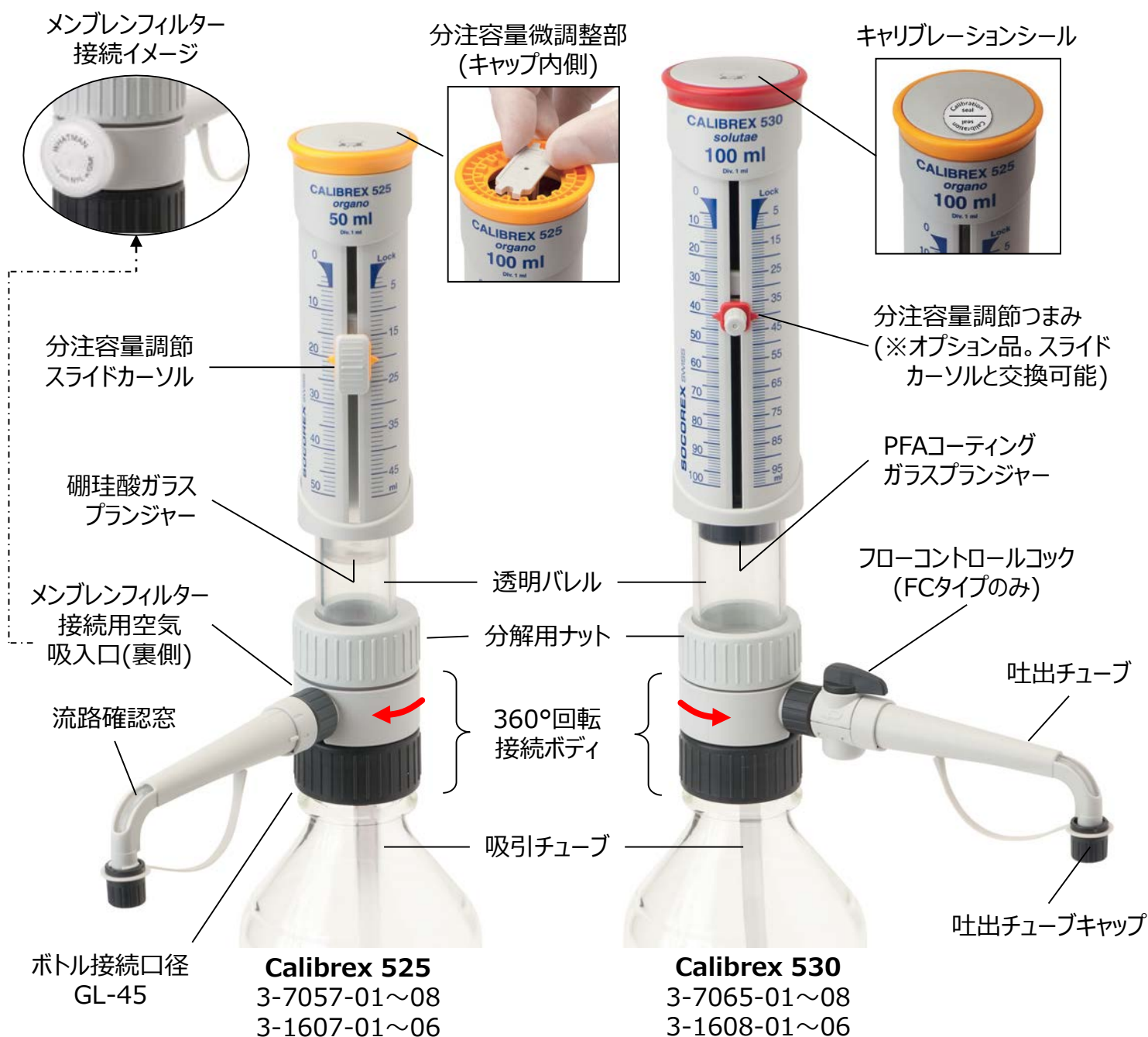
- 使用前に、各パーツに破損がないかご確認ください。
- 使用時は白衣や手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用してください。
- 使用する薬剤のメーカーが提供する仕様に適合しているかご確認ください。
- 有害物質を本製品で使用する可能性があります。特定の薬剤の使用可否や潜在的なリスクは、お客様によってご判断ください。当社は責任を負いかねます。
- 製品の材質と使用する薬液の耐薬品性を必ずご確認ください。本製品のパーツを腐食や劣化させる恐れのある液体は使用できません。
- 揮発性、爆発性のある液体は使用できません。
- 可燃性の液体を分注する場合は、静電気が蓄積しないよう注意し、プラスチック容器には分注しないでください。また、静電気が発生しないように、乾いた布で本体や容器などを拭かないでください。
- 操作温度範囲は、15～40℃です。周辺の温度がこの範囲外にならないようご注意ください。
- 本製品を、分注する以外の目的で使用したり、使用条件外での環境/条件で使用しないでください。
- 使用中、本製品から目を離さないようにしてください。
- 使用時に不具合や異常（例：ピストンが動かない、漏れがある、バルブが詰まる等）を感じた場合は、ただちに使用を中止してください。
- 操作者だけでなく、本製品の周囲にいる方々も危険がないように慎重に作業を行ってください。吐出チューブを操作者や周囲の方々に向けないようにし、適切な容器に分注してください。薬液が飛び跳ねないようにご注意ください。
- 吐出チューブにキャップを装着している時や、キャップを取付けた状態や、フローコントロールコックがSTOP位置の状態、ピストンを押さないでください。吐出チューブにキャップがついていないことをご確認後、分注してください。
- シリンダー内に薬液が残っている際に、吐出チューブを取り外さないようご注意ください。
- 薬液が吐出チューブ内に残留/蓄積することがあるため、定期的にお手入れを行ってください。
- 本製品に無理に力を加えないでください。
- 故障に繋がる可能性があるため、純正品のパーツのみご使用ください。
- 改造、ご自身での修理は行わないでください。保証の範囲外となります。本説明書に記載されている以上に本製品を分解しないでください。
- 清潔で乾燥した、室温が高くなく直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 廃棄する際は地域のルールにお従いください。

## 付属品一覧

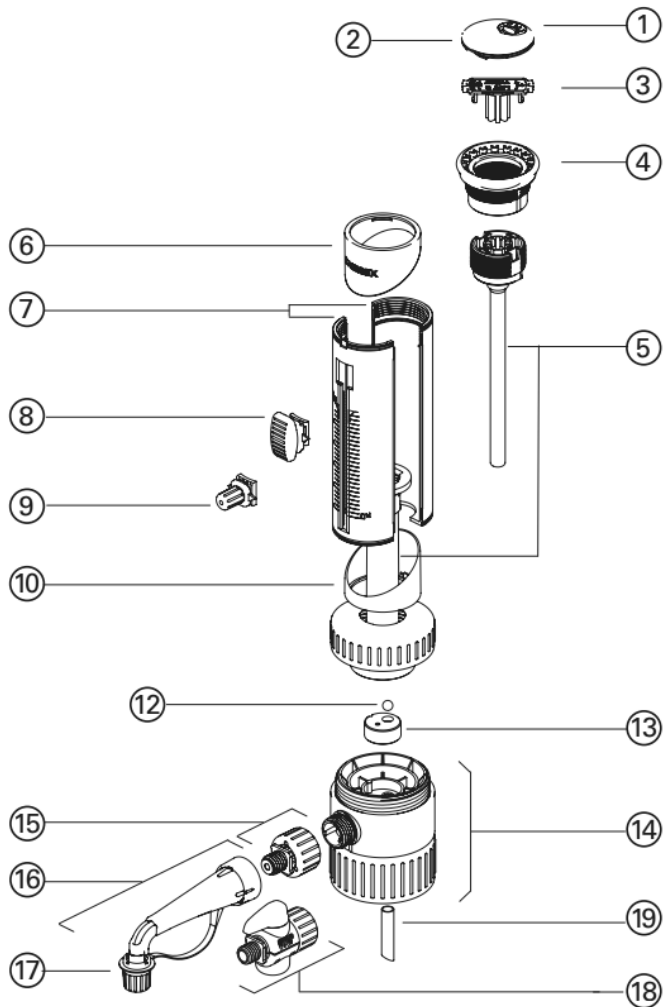
商品がお手元に届きましたら、付属品がお揃いかご確認ください。万が一、不足品や欠陥品がございましたら、お買い上げ頂いた販売店までご連絡ください。

モデル(最大分注容量)	1mL, 2.5mL	5mL, 10mL	25mL, 50mL, 100mL
吸引チューブ	長さ 300mm, 内径 φ5mm		長さ 300mm, 内径 φ7mm
排出チューブ	90mm		120mm
フローコントロールコック	FCタイプ(型番末尾にFCの記載があるモデル)のみ付属		
分注容量調整つまみ	-		付属
変換アダプター	GL-25, 28, 32	GL-28, 32, 40	GL-32, 38, 40

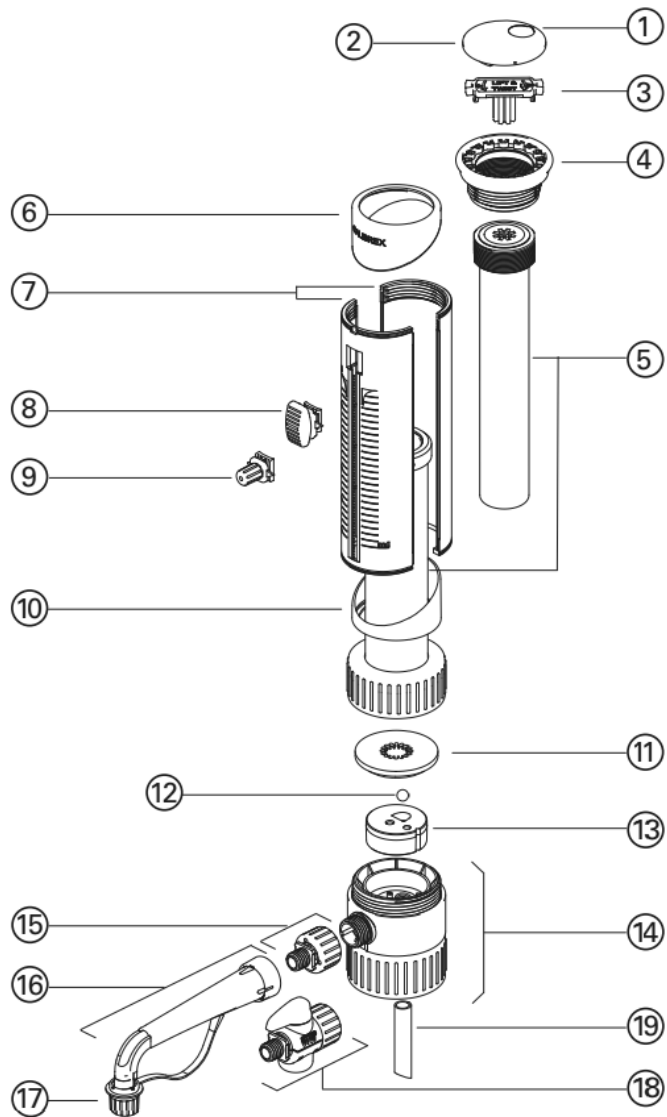
## 各部名称



## パーツ一覧表



最大分注容量：1～2.5mL モデル

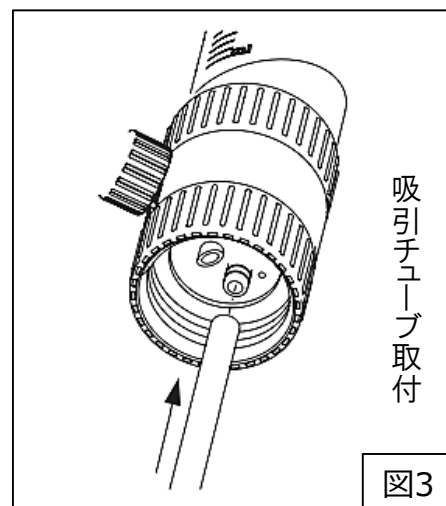
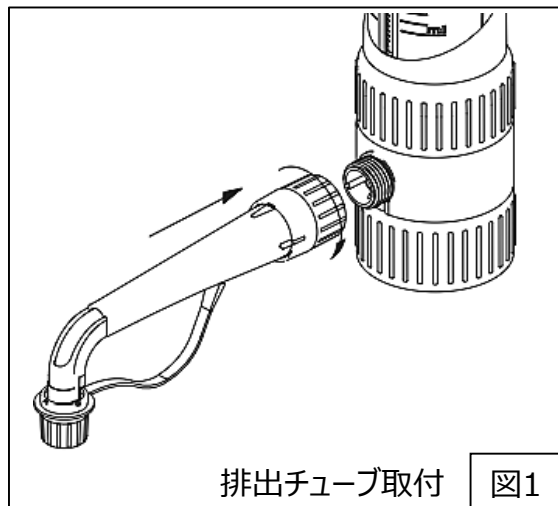


最大分注容量：5～100mL モデル

No.	パーツ名称	No.	パーツ名称
①	キャリブレーションシール	⑪	バルブプレート
②	キャップ	⑫	バルブボール
③	キャリブレーションキー	⑬	バルブボディ
④	プランジャーヘッド	⑭	接続ボディ
⑤	バレル/プランジャー	⑮	吐出チューブアダプター
⑥	上部カバー	⑯	吐出チューブ
⑦	ボディ	⑰	吐出チューブキャップ
⑧	分注容量調節スライドカーソル	⑱	フローコントロールコック (※FCタイプのみ)
⑨	分注容量調節つまみ (※オプション品)	⑲	吸引チューブ
⑩	下部カバー		

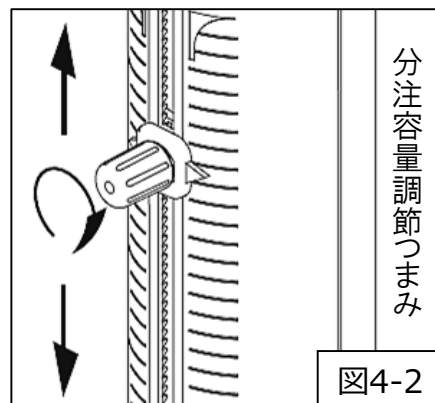
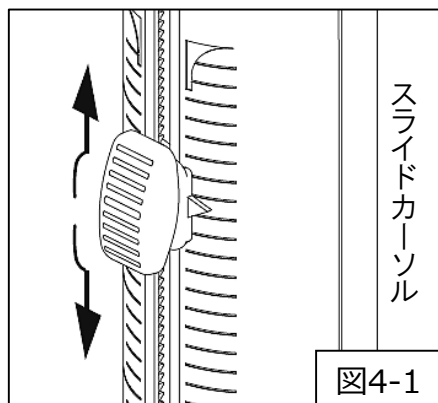
## 組立方法

- ① 排出チューブを本体に水平に差し込み、ネジ部を手で締めます。(図1)
- ② ご使用のボトルネジ口サイズに合わせて、必要に応じて変換アダプターを本体に取付けます。  
※ GL-25、28アダプターを取り付ける際には、GL-32アダプターを本体に取付けてください。
- ③ ご使用のボトルサイズに合わせて、吸引チューブの長さを調整します。(図2)
- ④ 吸引チューブを本体に差し込みます。(図3)
- ⑤ ボトルに本体をねじ込みます。

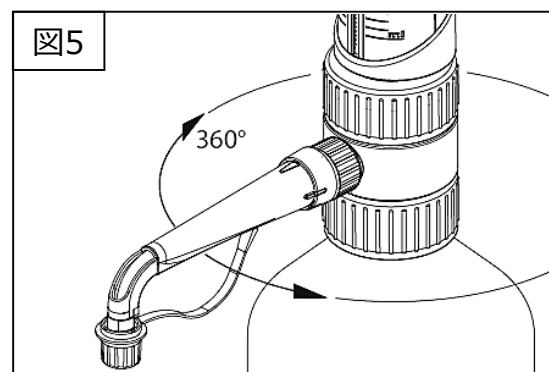


## 使用方法

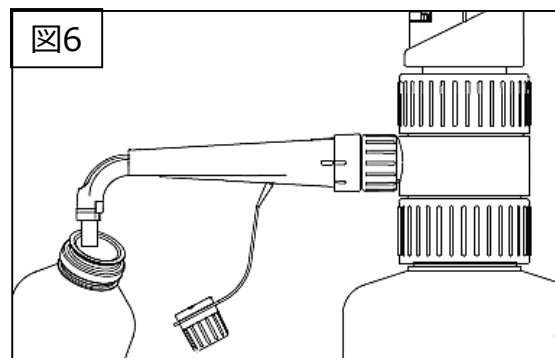
- ① 排出チューブ先端のキャップを回し、取外します。
- ② 分注容量調整スライドカーソルを「Stop」と書かれた位置から、希望する容量の目盛位置まで移動させます。  
手を離すと、自然にカーソルがロックされます。(参照：図4-1)  
オプション品の分注容量調節つまみをご使用の場合は、希望する容量の目盛位置に合わせた後、つまみを回してロックしてください。(参照：図4-2)



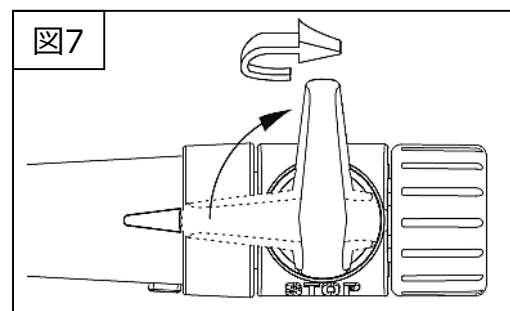
- ③ 接続ボディは360°回転します。接続ボディを持って回すと回転します。(参照：図5) 回転させるときは、吐出チューブを持って回転させないでください。必要に応じてご希望の位置に調節してください。



- ④ 本体内部の気泡を取り除くため、プライミングを行います。まず、清潔な空の容器を準備し、排出チューブの下にセットします。排出チューブキャップを外し、30mmほどの間隔でディスペンサーを上下させ、分注動作を数回繰り返してください。上下のストッパーに当たらないようご注意ください。排出チューブの流路確認窓を確認し、気泡がなくなるまで分注を行います。(参照：図6)



- ※フローコントロールコック付タイプの場合は、コックをリターン位置(参照：図7)に合わせてから、気泡がなくなるまで分注動作を繰り返します。溶液は吐出されずにボトル内に戻ります。上下のストッパーに当たらないようご注意ください。



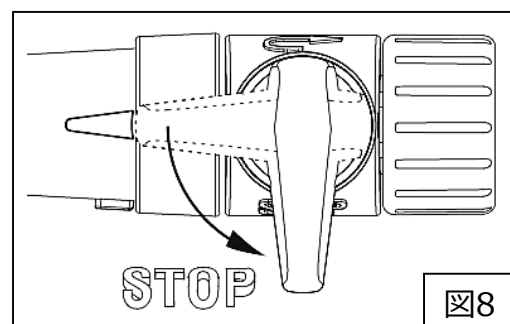
- ⑤ 分注容量調整スライドカーソルをスライドさせ、分注容量に合わせます。※分注容量調整つまみに交換している場合は、つまみを緩めてから分注容量に合わせ、つまみを締めて固定します。
- ⑥ 本体が停止する位置まで、ゆっくり持ち上げます。バレル内に溶液が吸引されます。本体が停止する位置まで、ゆっくり押し下げます。バレル内の溶液が排出チューブより吐出されます。特に高粘度や高密度の溶液を分注する場合は、操作をゆっくり行なってください。

※フローコントロールコック付タイプの場合は、コックを吐出位置に合わせてから操作してください。

- ⑦ 分注作業後は、排出チューブ先端にキャップを取付け、液漏れやチューブ内溶液の乾燥を防止します。
- ※分注容量調整スライドカーソル、またはつまみを「Stop」位置に合わせることで、誤操作による溶液の吐出を防止します。

- ⑧ また、フローコントロールコック付タイプの場合は、コックをストップ位置(参照：図8)に合わせることで、誤操作を防止します。
- ⑨ 保管により凝固する可能性がある溶液の分注作業にご使用の場合は、分注作業後、ボトルからディスペンサーを取り外し、洗浄してから保管してください。

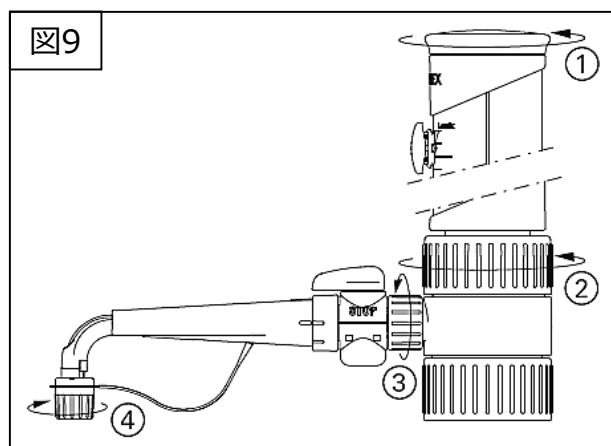
- ★ 吐出キャップを取付けた状態や、フローコントロールコックがSTOP位置の状態では、吐出操作しないでください。本体内部に異常な圧力が加わり、接続部などより漏液する場合があります。



## 分解方法/メンテナンス

定期的にメンテナンスを行うことにより、本製品の精度を維持でき、製品寿命が長くなります。

- ① ボトルからディスペンサーを外します。
- ② 分注動作を繰り返し、ディスペンサー内の溶液を取り除きます。
- ③ 本体を水が入ったボトルに取付けます。
- ④ 分注動作を繰り返し、ディスペンサー内を水で洗浄します。
- ⑤ ボトルからディスペンサーを外します。
- ⑥ 分注動作を繰り返し、ディスペンサー内の水を取り除きます。
- ⑦ 本体から吸引チューブを外します。
- ⑧ プランジャーヘッドを反時計方向に回し取外します。プランジャーを引き抜きます。(図9-①)



※ プランジャーヘッドが固着して引き抜けない場合は、無理に引き抜こうとしないでください。プランジャーヘッドやバレルが破損する場合があります。そのまま中性洗剤を薄めた溶液に浸して頂くか、超音波洗浄機などで洗浄して頂くと、固着が取れる場合があります。それでも固着している場合は、販売店までご相談ください。

- ⑨ 本体固定ナットを反時計方向に回し取外します。(図9-②)、排出チューブを取外します。(図9-③)
- ⑪ 各部品を、中性洗剤を薄めた溶液に浸し、汚れを落とします。超音波洗浄機をご使用頂くと、より汚れが落としやすくなります。
- ⑫ 組み立ての前に水で洗浄し、中性洗剤や汚れを取り除いてください。分解と反対の手順を行います。

### ■ オートクレーブ

本製品は、分解なしで121℃20分間のオートクレーブが可能です。

- ① オートクレーブの前に、ディスペンサー内部の残留液をすべて吐出します。
- ② 本体固定ナット(図9-②)、吐出チューブアダプター(図9-③)、排出チューブキャップ(図9-④)をそれぞれ緩めます。
- ③ オートクレーブ装置の金属部分に直接ディスペンサーが接触しないように注意して、ディスペンサーを水平にオートクレーブ装置内に挿入します。
- ④ オートクレーブ後は、ディスペンサーが完全に乾燥・冷却するまで(最低2時間)待ちます。
- ⑤ 最初数回のオートクレーブ後は、分注容量が正確であることを確認してからご使用ください。
- ⑥ オートクレーブを数回行くとディスペンサーが変色する場合があります。

## キャリブレーション

全てのディスペンサーは、工場出荷時に分注容量の調整を実施しております。

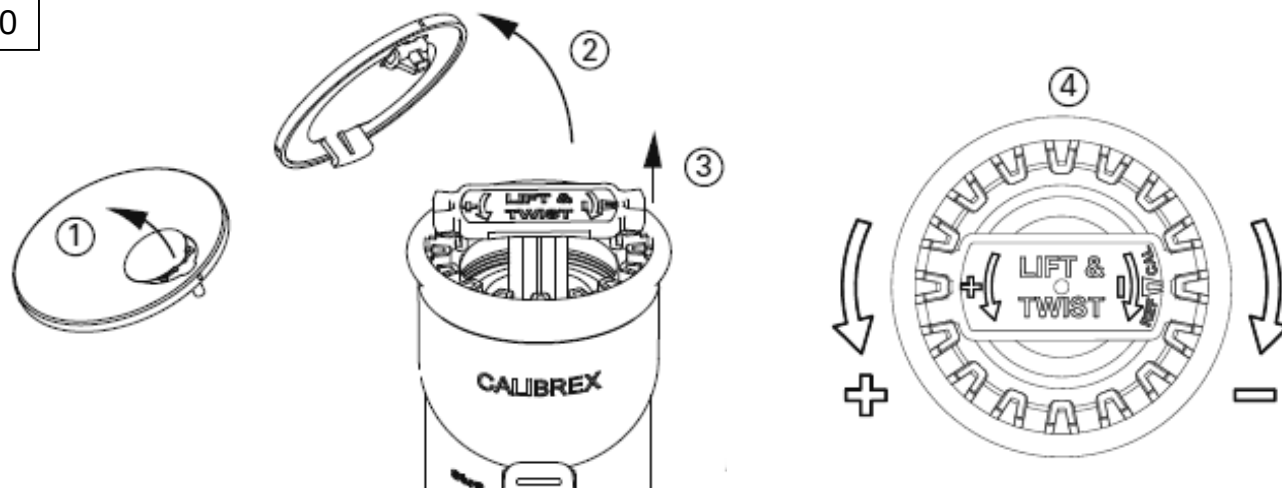
長期間のご使用によって、分注容量に誤差が生じた場合や、溶液の密度や温度などの影響により誤差が生じた場合は、キャリブレーションによって分注容量の微調整ができます。キャリブレーションには、分析天秤を使用します。また、バレルやプランジャー、ボディ、バルブボディーを交換した際には、キャリブレーションが必要です。

- ① キャリブレーションシールをはがします。(図10-①)
- ② キャップを取外します。(図10-②)
- ③ キャリブレーションキーを引き上げます。(図10-③)
- ④ キャリブレーションキーの+/-方向に従って、分注容量の微調整を行ないます。(図10-④)1目盛り回すと、次ページの表の通りに容量分変化します。

容量範囲	変化量	容量範囲	変化量
0.1 ~ 1 mL	± 0.9 $\mu$ L	2.5 ~ 25 mL	± 17.4 $\mu$ L
0.25 ~ 2.5 mL	± 2.3 $\mu$ L	5 ~ 50 mL	± 34.7 $\mu$ L
0.5 ~ 5 mL	± 4.6 $\mu$ L	10 ~ 100 mL	± 52.1 $\mu$ L
1 ~ 10 mL	± 9.3 $\mu$ L		

⑤ キャリブレーションキーを押し下げ、キャップを取付けます。最後に、新しいキャリブレーションシールを貼付します。

図10



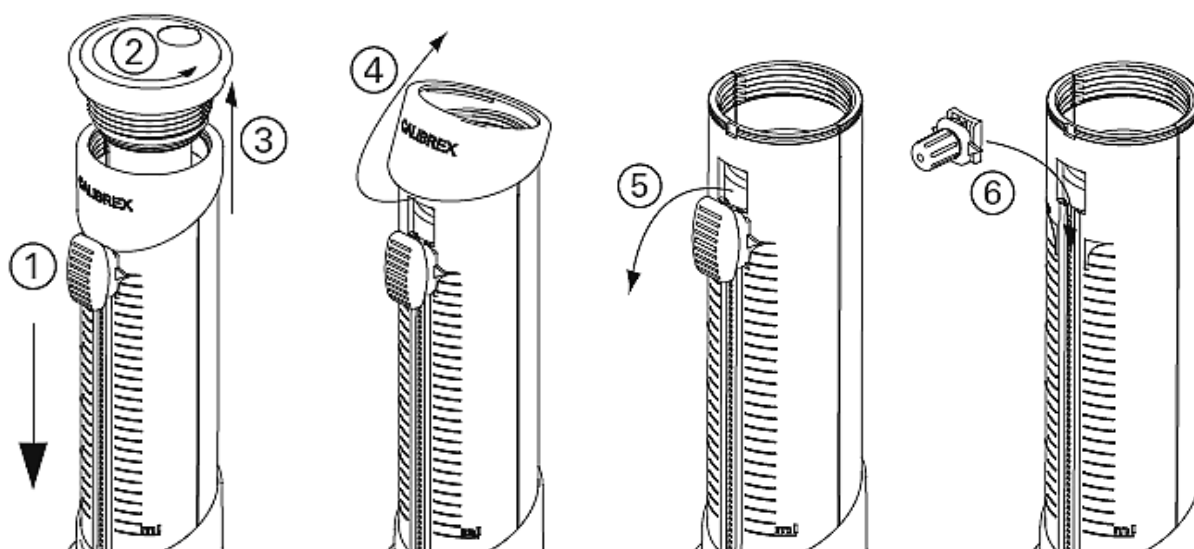
## オプションパーツ交換方法

### ■ 分注容量調整つまみ交換手順

分注容量調整つまみをスライドカーソルからつまみ式に交換しますと、分注容量を固定しての使用に適します。

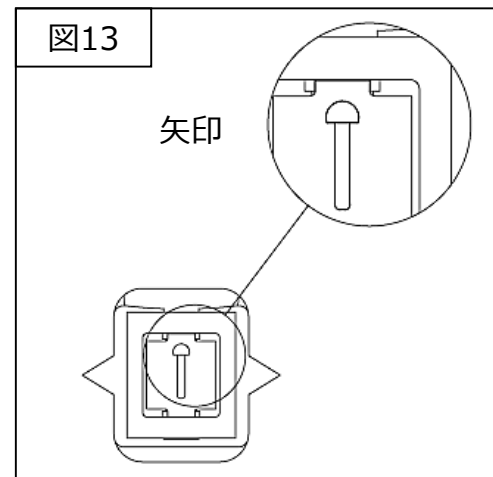
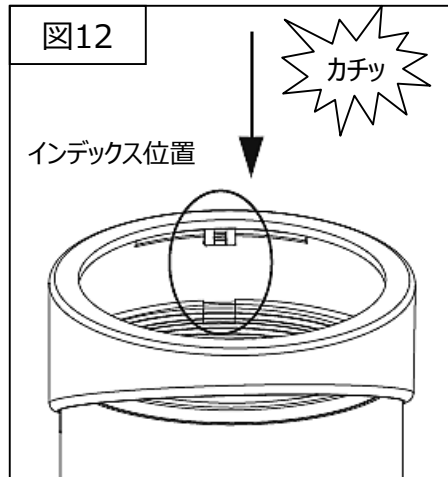
- ① プランジャーヘッドを反時計方向に回し取外します(図11-①)。プランジャーを引き抜きます。(図11-②)
- ② 上部カバーの手前側を斜め上方向に引き上げ、取外します。(図11-③)
- ③ スライドカーソルを最上部まで移動させ取外します。(図11-④)
- ④ 分注容量調整つまみを挿入し、最下部まで移動させ、つまみを時計方向に回して固定します。

図11



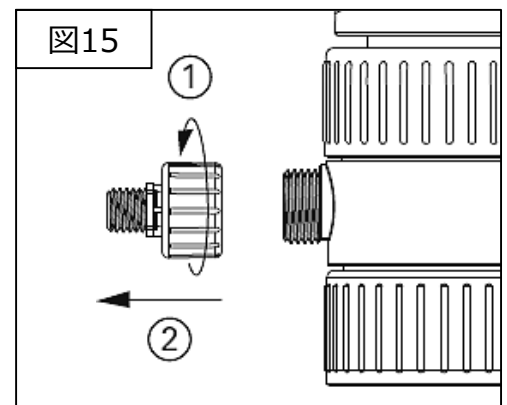
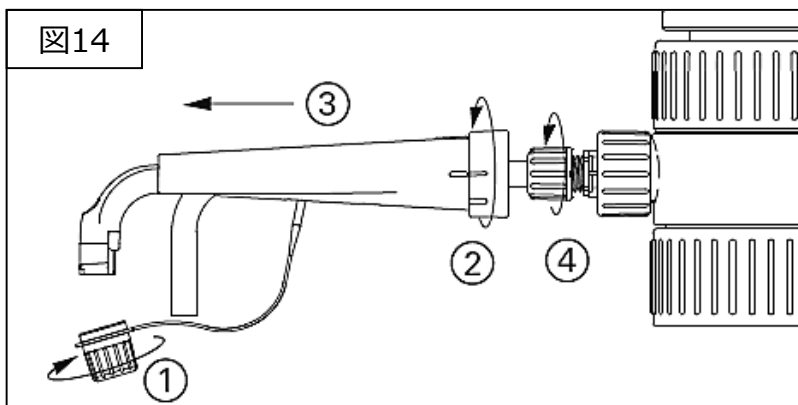


- ⑤ インデックス位置を確認しながら、上部カバーをカチッと音がするまで取付けます。(図12)
- ⑥ プランジャーを挿入し、プランジャーヘッドを時計方向に回して固定します。
- ⑦ 分注容量を調整する際は、つまみを反時計方向に回してから設定位置までつまみを移動させ、つまみを時計方向に回して固定します。  
※つまみへの交換作業後、特にキャリブレーションする必要はありません。
- ⑧ スライドカーソルへ戻す際は、スライドカーソル裏面の矢印が上を向く方向に取付けてください。(図13)  
反対方向に取付けますと、分注操作時にスライドカーソルが移動する場合があります。



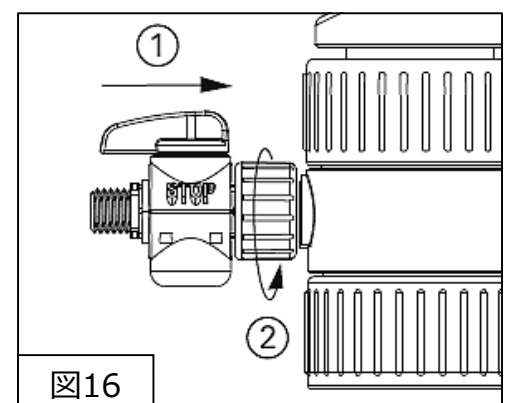
## ■ 吐出チューブ交換手順

- ① 吐出チューブキャップを取り外します。(図14-①)
- ② 吐出チューブの根本を矢印の方向に45°回します。(図14-②)
- ③ 吐出チューブの先端部を本体側に押さえながら、吐出チューブのカバーを矢印の方向にスライドさせます。(図11-③)
- ④ 吐出チューブアダプターを反時計方向に回して取り外し(図14-④)、吐出チューブを取り外します。
- ⑤ 吐出チューブのジョイント部品を、反時計方向に回して取り外します。(図15)

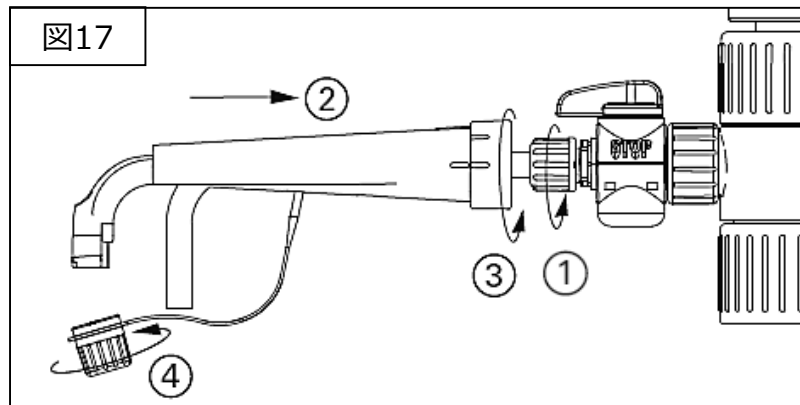


## ■ フローコントロールコック取付手順

- ① フローコントロールコックを角度に注意しながら本体に差し込み(図15-①)、固定ネジを時計方向に回します。(図16-②)
- ② 吐出チューブの先端部が下方向に向くように注意しながら本体に差し込み、固定ネジを時計方向に回して固定します(図16-①)

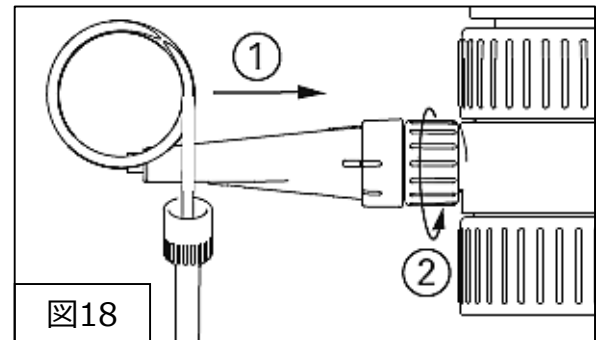


- ③ 吐出チューブの先端部を押さえながら、吐出チューブのカバーを矢印の方向にスライドさせます。(図17-②)
- ④ 吐出チューブのカバーの根本を矢印の方向に45°回して固定します。(図17-③)
- ⑤ 吐出チューブのジョイント部品を、反時計方向に回して取り外します。

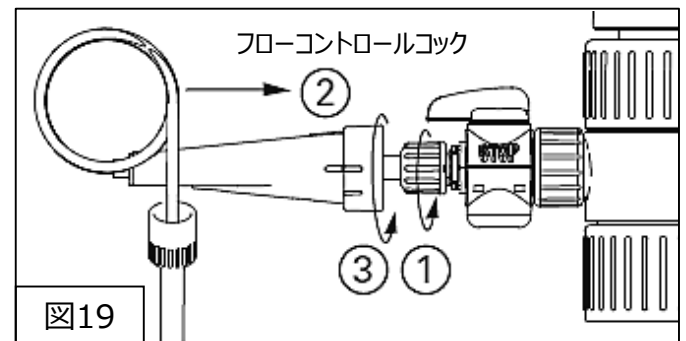


## ■ コイル状吐出チューブ取付手順

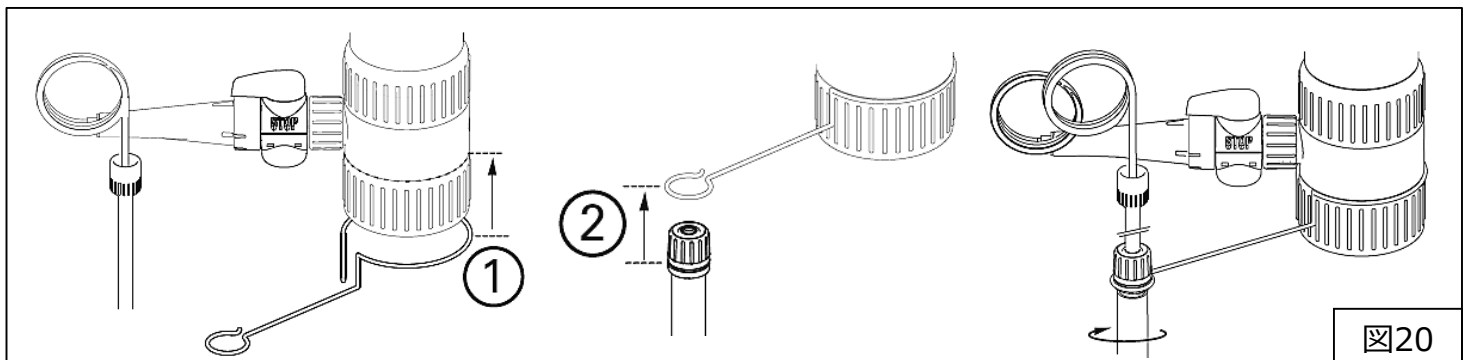
- ① 吐出チューブを本体から外します。
- ② コイル状吐出チューブのを角度に注意しながら本体に差し込み(図18-①)、固定ネジを時計方向に回して固定します(図18-②)。



- ③ フローコントロールコックに取付ける場合は、予めコイル状吐出チューブからジョイント部品を取り外します。
- ④ コイル状吐出チューブをフローコントロールコックに差し込み、固定ネジを時計方向に回して固定します。(図19-①)
- ⑤ カバーを矢印の方向にスライドさせ(図19-②)、カバー根本部を矢印の方向に45°回して固定します(図19-③)。



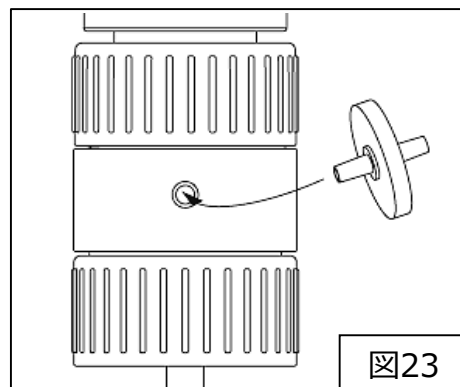
- ⑥ ホルダーワイヤーを本体下部より差し込み(図20-①)、ペンホルダーをホルダーワイヤーに取付けます。(図20-②) ペンホルダーを洗浄する場合は、時計方向に回して取り外します。



## ■ 滅菌エアフィルターの取付

本体の背面にエアインレット取付穴があります。必要に応じて、ルアーロックのシリンジフィルターを取付けることが可能です（図23）。

エアインレット取付け穴にある薄い保護カバーを切り取り、フィルターのルアーコネクターを取付穴に差し込んで取り付けてください。



## トラブルシューティング

現象	考えられる原因	対策
液体の吸引障害	液体の結晶化/固着によるプランジャーの詰まり	ディスペンサーをぬるま湯、または中性洗剤に浸し、パーツをそっと動かして固着した残留物を取り除いてください。 ※ 力を入れてプランジャーを無理に動かさないでください。
	バルブボールの詰まり、または紛失/欠陥	温水に浸けてパーツを動かし、詰まりを解消してください。必要に応じて超音波洗浄機を用いてください。（参照：7頁「分解方法/メンテナンス」） バルブボールを紛失したり、欠けたりしている場合は新品と交換してください。
	吸引チューブの詰まり	吸引チューブを取り外してクリーニングしてください。
プランジャーの動きが悪い	【530モデル】PFAコーティングが不適切な洗浄により剥がれた/損傷した	プランジャーを新品と交換してください。 クリーニングは本取説に記載の手順にお従ってください。
	【530モデル】PFAコーティングが耐薬品性能的に相性の悪い化学薬品を使用したことにより膨張した	プランジャーを新品と交換してください。 分注する液体と、本商品の接液部の材質との耐薬品性をご確認ください。
	汚れている	プランジャーをクリーニングしてください。
	不適切なオートクレーブにより、パーツに歪みや損傷が生じている	パーツを交換してください。 本取説に記載のオートクレーブの条件にお従ってください。

現象	考えられる原因	対策
気泡がある	十分なプライミングをしていない	6頁「使用方法」手順④をご確認ください。 分注前にプライミングをしっかりと行い、内部の気泡を取り除く必要があります。
	吸引チューブの接続に問題があるか、損傷している	吸引チューブが本体に適切に接続されているかご確認ください。 吸引チューブが損傷している場合は、新品と交換してください。
	容器内の液面が不十分か、吸引チューブの長さが不適切	ボトルに液体を充填してください。吸引チューブの長さが適当であるかご確認ください。
	吐出チューブと本体の接続が緩んでいる	しっかりと接続部のネジを締めてください。
液体が分注されない	吐出チューブに吐出チューブキャップがつけられたままになっている	分注前に必ず吐出チューブキャップが外れているかご確認ください。
	バルブボールの詰まり	温水に浸けてパーツを動かし、詰まりを解消してください。必要に応じて超音波洗浄機を用いてください。（参照：7頁「分解方法/メンテナンス」）
	【FCタイプ】フローコントロールコックが「STOP」の位置にある	コックが「STOP」に設定されていないかご確認ください。 （参照：6頁「使用方法」手順⑧）
液体が漏れる	接続パーツの緩み	各接続部が緩んでいないか確認し、締めなおしてください。
	バレルに亀裂が入っている、壊れている	バレルを新品と交換してください。
	【FCタイプ】フローコントロールコックが「STOP」の位置にある	コックが「STOP」に設定されていないかご確認ください。 （参照：6頁「使用方法」手順⑧）
分注容量調節スライドカーソル/つまみが固定されない	分注容量調節スライドカーソルを逆方向に取付けている	9頁「オプションパーツ交換方法」手順⑧を確認し、適切にスライドカーソルを取付けてください。
	分注容量調節つまみが緩んでいる	つまみを回して締めてください。
分注される容量が不安定	吐出する際の動かすスピードが不安定	プランジャーを上部と下部のストッパーの間で衝撃を与えないよう、やさしく一定の速度で動かしてください。
	バルブボールやバルブシートに残留物が付着し、緩んでいる	クリーニングを行ってください。
	液体が漏れている	前述の「現象：液体が漏れる」をご参照ください。
	液体の粘度や密度、温度が校正条件と異なる	使用する液体に合わせてキャリブレーションを行ってください。

# 仕様

## ■ 材質

モデル		1～5mL	10～100mL
吸引チューブ		PTFE	FEP
バルブ		セラミック	
バルブボール		硼珪酸ガラス	セラミック
バルブスプリング		プラチナイリジウム	
バルブプレート		PTFE	
バレル		硼珪酸ガラス	
プランジャー	525	セラミック	硼珪酸ガラス
	530	PFAコーティング セラミック	PFAコーティング ガラス
本体		FTFE	
吐出チューブ		FEP	
キャップ		PP	

## ■ 材質（コイル状排出チューブ・接液部）

コイル状排出チューブ／EFP、本体接続部／PCTFE、ペンホルダー／ガラス（外面PPコーティング）・ETFE

	3-7057	3-7065			
	型番	型番	容量(ml)	最小可変容量(ml)	動粘度目安(cSt)
-01	525.001	530.001	0.1～1	0.02	1500
-02	525.002.5	530.002.5	0.25～2.5	0.05	1200
-03	525.005	530.005	0.5～5	0.1	1000
-04	525.010	530.010	1～10	0.2	250
-05	525.001FC	530.001FC	0.1～1	0.02	1500
-06	525.002.5FC	530.002.5FC	0.25～2.5	0.05	1200
-07	525.005FC	530.005FC	0.5～5	0.1	1000
-08	525.010FC	530.010FC	1～10	0.2	250

	3-7057	3-7065	精度(E%)			再現性(CV%)		
	型番	型番	最小容量	中間容量	最大容量	最小容量	中間容量	最大容量
-01	525.001	530.001	<±3.0	<±1.8	<±0.6	<1.2	<0.7	<0.17
-02	525.002.5	530.002.5	<±2.7	<±1.6	<±0.6	<0.9	<0.55	<0.17
-03	525.005	530.005	<±2.0	<±1.3	<±0.6	<0.5	<0.35	<0.1
-04	525.010	530.010	<±1.5	<±1.2	<±0.6	<0.5	<0.35	<0.1
-05	525.001FC	530.001FC	<±3.0	<±1.8	<±0.6	<1.2	<0.7	<0.17
-06	525.002.5FC	530.002.5FC	<±2.7	<±1.6	<±0.6	<0.9	<0.55	<0.17
-07	525.005FC	530.005FC	<±2.0	<±1.3	<±0.6	<0.5	<0.35	<0.1
-08	525.010FC	530.010FC	<±1.5	<±1.2	<±0.6	<0.5	<0.35	<0.1

	3-1607	3-1608			
	型番	型番	容量(ml)	最小可変容量(ml)	動粘度目安(cSt)
-01	525.025	530.025	2.5~25	0.5	400
-02	525.050	530.050	5~50	1.0	250
-03	525.100	530.100	10~100	1.0	150
-04	525.025FC	530.025FC	2.5~25	0.5	400
-05	525.050FC	530.050FC	5~50	1.0	250
-06	525.100FC	530.100FC	10~100	1.0	150

	3-1607	3-1608	精度(E%)			再現性(CV%)		
	型番	型番	最小容量	中間容量	最大容量	最小容量	中間容量	最大容量
-01	525.025	530.025	<±1.5	<±1.1	<±0.6	<0.5	<0.35	<0.1
-02	525.050	530.050	<±1.5	<±1.1	<±0.6	<0.5	<0.35	<0.1
-03	525.100	530.100	<±1.5	<±1.1	<±0.6	<0.5	<0.35	<0.1
-04	525.025FC	530.025FC	<±1.5	<±1.1	<±0.6	<0.5	<0.35	<0.1
-05	525.050FC	530.050FC	<±1.5	<±1.1	<±0.6	<0.5	<0.35	<0.1
-06	525.100FC	530.100FC	<±1.5	<±1.1	<±0.6	<0.5	<0.35	<0.1

性能値は、ENISO8655に基づき、20℃～25℃の間の一定温度（±0.5℃）の条件で、滑らかで安定したペースの分注によって求められた値です。

# オプション品一覧

オプション品をお求めの際は、別途お問い合わせください。

型番	商品仕様	入数
1.525.123	延長吐出チューブ 1 mL モデル用 (120mm)	1
1.525.123	延長吐出チューブ 2.5 / 5 / 10 mL モデル用 (120mm)	1
1.525.150	延長吐出チューブ 25 mL モデル用 (150mm)	1
1.525.151	延長吐出チューブ 50 / 100 mL モデル用 (150mm)	1
1.525.610	FEP/PCTFE製 コイル状吐出チューブ 1 / 2.5 / 5 / 10 mL モデル用(600mm)	1
1.525.625	FEP/PCTFE製 コイル状吐出チューブ 25 mL モデル用(600mm)	1
1.525.650	FEP/PCTFE製 コイル状吐出チューブ 50 / 100 mL モデル用(600mm)	1
1.525.544	フローコントロールコック 1 / 2.5 / 5 / 10 mL モデル用	1
1.525.546	フローコントロールコック 25 / 50 / 100 mL モデル用	1
511.709	吸引チューブ 1 / 2.5 / 5 / 10 mL モデル用 (※1m単位で指定可能)	-
525.706	吸引チューブ 25 / 50 / 100 mL モデル用 (※1m単位で指定可能)	-
1.525.GLxx	PP製 変換アダプター 25 / 28 / 32 / 38 / 40 mm	1
GLPxx	PP製 変換アダプター 22 / 30 / 34 / 36 mm ※これらのサイズを使用する場合は、GL-32の変換アダプター(型番:1.525.GL32)が別途必要です。	1
320.SB100	ディスペンサースタンド (全モデル共通)	1



**ディスペンサースタンド**  
ディスペンサーを固定し安定させます。

Made in Switzerland

### 保証規定

1. 弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。
2. 次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
  - ・誤使用、不当な修理・改造による故障。
  - ・本品納入後の移動や輸送或いは落下等による故障。
  - ・火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。
  - ・接続している他の機器が原因による故障。
  - ・車両・船舶等での使用による故障。
  - ・消耗部品、付属部品の交換。
  - ・本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、及び保証書の提示がない場合。
3. ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

### 保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に左記保証規定 1 に基づく正常な使用状態での故障の節は左記保証規定により修理いたします。

品名	キャリブレックスディスペンサー 525/530
品番	<b>3-7057-01~08/3-7065-01~08</b> <b>3-1067-01~06/3-1068-01~06</b>
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
お買い上げ日	年 月 日
お名前	様
ご住所	TEL.
取り扱い店名	担当者印
住所	TEL.

 **アズワン株式会社**

#### 商品についてのお問い合わせは カスタマー相談センター

TEL 0120-700-875  
FAX 0120-700-763  
問合せ専用URL <https://help.as-1.co.jp/q>

#### 修理・校正についてのお問い合わせは 修理窓口

TEL 0120-788-535  
FAX 0120-788-763  
問合せ専用E-mail [repair@so.as-1.co.jp](mailto:repair@so.as-1.co.jp)

受付時間：午前9時～午後5時30分まで  
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用いただけません

第1版 2019年 7月 作成